

# 第3期データヘルス計画について

【令和6年（2024）度～令和11（2029）年度】

令和6年4月

日本高周波鋼業健康保険組合

# データヘルス計画とは

全ての保険者に義務付けられた国民の健康寿命延伸のための予防・健康づくりに資する新たな仕組み  
⇒ レセプト・健診情報等のデータ分析を活用してPDCAサイクルに沿った効果的・効率的な保健事業  
を実施するための実施計画

第3期データヘルス計画ではコラボヘルスを通じて、保健事業の成果を出す取組（加入者の健康増進）  
が求められている。

※コラボヘルスとは・・・健保と事業者が連携し、明確な役割分担と良好な職場環境のもと、加入者の予防・健康づくりを効率的・効果的に実行することです。

	第1期	第2期	第3期
対象年度	2015～2017年度	2018～2023年度	2024～2029年度
政府の成長戦略	日本再興戦略（2013年）	未来投資戦略（2017年）	
データヘルス計画で 国が目指したもの	スタート時は 身の丈に合った保健事業の展開	法令を順守した確実な取組み	<u>コラボヘルス</u> を通じて、 成果を出す取組み
国のガイドラインを 踏まえた 当健保の主な 実施事項	生活習慣病対策	生活習慣病対策に加えて がん等の対策	第2期のさらなる発展 <u>コラボヘルスを深化して対策</u>
関連する制度・ 施策等	第2期特定健診・保健指導 第2期後期高齢者支援金制度	健康スコアリングレポートによるコラボヘルス 第3期特定健診・保健指導 第3期後期高齢者支援金制度	<u>健康スコアリングレポートによるコラボヘルス</u> 第4期特定健診・保健指導 第4期後期高齢者支援金制度

# 当健保の現状と今後の方向性

## 第2期の振り返り

- 加入者の健康増進を目的に特定健診・特定保健指導を軸に各種生活習慣病対策を実施
- 事業主との保健事業の基盤構築（各事業所との定期的なコミュニケーションを実施）

## これからの課題

- 当健保のボリュームゾーンである40代後半の年齢層が第3期の6年間で50代にスライドするのに伴い、加入者全体の平均年齢も上昇していく。
- 加入者の平均年齢上昇に合わせて生活習慣病等の増加が見込まれるため、生活習慣の改善を通して肥満や高血糖等の健康リスク保有者を減少させていくことが必要である。

## 第3期の方向性

**方向性：第2期保健事業を継続実施する。取組の推進にあたり事業主との連携を深める。**

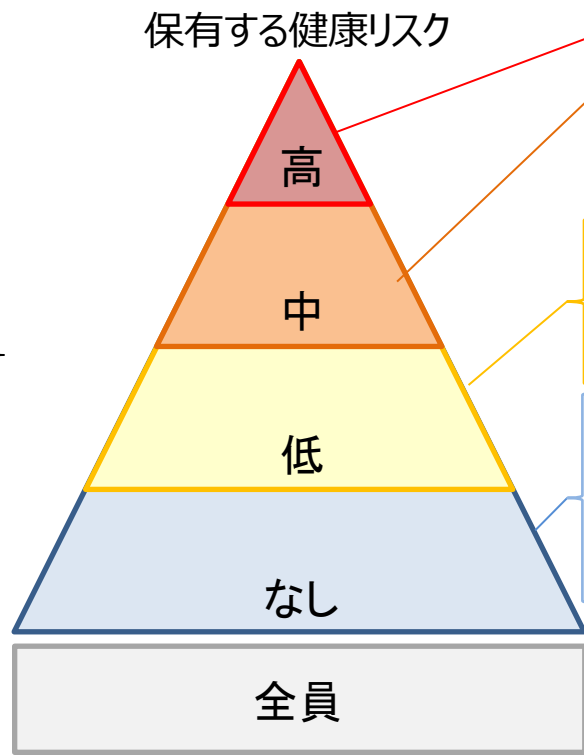
- 特定健診・特定保健指導の更なる向上により、加入者の健康意識向上と医療費抑制を図る。
- 重症化予防等、特定保健指導以外の生活習慣病対策を進める。
- 喫煙対策を進める。

# 第3期データヘルス計画で実施する保健事業

<b>一次予防(広報)</b>
広報誌(ばらんす・育児冊子)の発行
<b>一次予防(情報提供)</b>
Webサービス(健保HPのみ)
<b>一次予防(栄養・運動)</b>
健康支援活動(ウォーキングイベント)
<b>一次予防(喫煙対策)</b>
禁煙外来補助・オンライン指導(健保独自)
<b>一次予防(健康相談)</b>
健康相談(体・こころ・生活習慣病)
<b>一次予防(呼吸器対策)</b>
インフルエンザ予防接種補助(コロナ拡大)
<b>その他(医療費適正化)</b>
医療費通知
後発医薬品の利用促進
スポーツクラブ
契約保養所
常備薬斡旋

<b>コラボヘルス(事業所との連携)</b>
・事業所との定期的なコミュニケーション ・事業所別健康分析

赤字：第3期中に検討



<b>二(三)次予防(受診勧奨・重症化予防)</b>
糖尿病重症化予防(保健指導)
医療機関受診勧奨

<b>二次予防(特定健診・特定保健指導)</b>
特定保健指導
生活習慣病予備軍への支援(若年層)

特定健康診査
生活習慣病健診
人間ドック・脳ドック

<b>二次予防(がん検診・歯科健診)</b>
胃がん検診
大腸がん検診
婦人科検診(乳がん・子宮がん)
二次健診(精密検査) ※胃・大腸
歯科検診・郵送検査(歯周病リスク調査)

<b>ポピュレーションアプローチ</b>
ICTを活用した個々のアプローチ